講座番号	514	体系区分	専門研修	主催	京都府総合教育センター

令和３年度

京の教育「ふるさと」講座Ⅱ～丹後郷土資料館で学ぶ～
実施要項

講座のねらい	京都府立丹後郷土資料館での見学、講義等を通し、丹後地域の歴史、伝統・文化への認識を深め、地域人材を活用した講義を通して、「ふるさと京都」の地域教材の開発・活用についての指導力向上を図る。
京都府教員等の資質能力の向上に関する指標との対応	ステージ２　中堅期（７年～１５年）　　観点：京都ならではの教育 ・京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。
受講対象	全教職員
定員	３０名
日時	令和３年１０月２９日（金）　　１３：００～１７：００
会場	京都府立丹後郷土資料館（宮津市国分小字天王山６１１－１）

	講義題等		内容
13:00	講義Ⅰ	社会に開かれた教育課程と地域教材の活用	・「社会に開かれた教育課程」の視点から、地域教材の活用について考える。
		京都府総合教育センター　主任研究主事兼指導主事　辻村　重子 京都府総合教育センター　研究員　岡村　佳之	
13:40	講義Ⅱ	ふるさと京都を学ぶ	・丹後の地域人材から、ふるさと京都について地域振興の重要性を学び、地域教材の開発及び活用について考える。
		一般社団法人　京都府北部地域連携都市圏振興社（通称：海の京都DMO） 総合企画局長　村上　章	
14:50	見学	丹後地域の歴史と文化について	・丹後地域の特色ある文化財について実際に見学し、歴史や伝統を守り伝えることの重要性について学ぶ。また、研究協議を通して地域教材の開発、伝統や文化に関する学習の充実に向けての方策を考える。
		京都府立丹後郷土資料館　資料課長　森島　康雄 京都府立丹後郷土資料館　技師　稲穂　将士	
16:20	研究協議	地域教材の開発、伝統や文化に関する学習の充実に向けて	・研究協議を通して地域教材の開発、伝統や文化に関する学習の充実に向けての方策を考える。
		京都府総合教育センター　主任研究主事兼指導主事　辻村　重子 京都府総合教育センター　研究員　岡村　佳之	
17:00			

その他	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場は座席の間隔をとり、換気を行います。マスクの着用、資料館玄関での手指の消毒又は石鹸での手洗い等を各自行ってください。 その他、資料館での対策及び交通案内については、京都府立丹後郷土資料館ホームページにて御確認ください。（ＵＲＬ　http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/cms/） ・担当部・・・企画研究部　TEL 075-612-2950